若手タクシー運転手インタビュー

国土交通省 関東運輸局 群馬運輸支局

1

高崎駅構内自動車　株式会社

「自分のペースで働けることが魅力」



小坂さん（２５歳）

事業内容：タクシー

現業：タクシー運転者

令和７年より運転者として活躍

Q１.運転手を目指したきっかけはありますか？

以前は送迎の仕事に携わっており、もともと運転が好きだったことから、「運転を仕事にしたい」と考えたことがきっかけです。

Q２.入社を決めた理由を教えてください

女性限定の求人があり、希望する時間帯に勤務できることや、**二種免許取得の支援制度**があったことが決め手です。「自分のペースで長く働ける」という点にも魅力を感じ、自分の希望する働き方に合っていると思い入社を決めました。

Q３.入社について、家族や友人の反応はありましたか？

家族からは夜勤を心配されましたが、日勤のみであることを伝えると安心してもらえました。友人からは、「かっこいい」、「似合ってる」と言ってもらえました。

Q４.入社前に抱いていたイメージと実際に働いてみて感じたことを教えてください。

入社前は、タクシードライバーは年配の男性が中心で、長時間運転し続ける仕事というイメージを持っていました。

実際に働いてみると、**同世代や女性の運転者も活躍**しており、和気あいあいとした雰囲気の職場です。また、乗務中には待機時間もあるため、**自分のペースで働く**ことができます。

Q５．１日の勤務の流れを教えてください 。

朝９時頃に出社し、担当する車両の点検や点呼を行い、乗務を開始します。

乗務終了後は、売上計算や車両の清掃、点呼等を行い、18時頃に退社します。

若手タクシー運転手インタビュー

国土交通省 関東運輸局 群馬運輸支局

②

Q６.会社の魅力的な制度等はありますか？

二種免許取得費用を会社が全額負担してくれる支援制度です。未経験でも挑戦しやすく、この会社を選んだ決め手の一つになりました。また、成果が収入に反映される歩合制の給与体系にも魅力を感じています。

Q７.嬉しかったことややりがいを教えてください。

「あなたでよかった」、「安心して乗ることができた」と言っていただけることです。タクシードライバーとしてお客様のお役に立てたことを実感でき、次も頑張ろうという励みになります。

Q８.大変だったことや苦労したことはありますか？

お客さまが泥酔している場合に乗車をお断りすることができるかどうかの判断に悩むことがあります。
また、乗務時間が長いため、腰への負担が大きいことも苦労している点の１つです。

Q９. 若手タクシー運転者だからこそできると感じることはありますか？

道や地理を覚える速さや、機器の操作を習得する吸収力が強みだと思います。
また、高齢のお客様から「若い方と会話するとリフレッシュできる」と言っていただくこともあります。

Q１０. 若い世代に運転者という職業に興味を持ってもらうためにはどのような取組が必要だと思いますか。

「定年退職後に就く仕事」というイメージがあると思います。そのため、仕事を選ぶ際に運転者という職業を選択肢として考える若い世代が少ないと感じます。働きやすい環境や魅力をもっとアピールする必要があると思います。

Q１１.今後の目標を教えてください。

お客様から近くのおいしいお店やおすすめの場所について聞かれることが多いため、地域の知識を増やし、ご案内できるようになりたいです。また、多くのお客様に「安心して乗ることができる」と感じていただける運転者を目指していきたいです。

Q１２.最後に運転者を目指す方へメッセージをお願いします。

自分のペースを大切にしながら働きたい、努力が結果につながる仕事をしたい方は、タクシードライバーという仕事も選択肢の１つに入れてみてはいかがでしょうか。
お客様を安全かつ迅速にお送りするこの仕事は直接感謝の言葉をいただける機会も多く、自分の仕事が**誰かの役に立っている**ことを実感できます。
努力が成果として表れやすいため、自分のモチベーションにもつながります。
仕事とプライベートを両立しながら働けることも魅力です。皆さんと笑顔で一緒に働ける日を楽しみにしています。



若手タクシー運転手インタビュー

国土交通省 関東運輸局 群馬運輸支局

③

高崎駅構内自動車　株式会社

求める人材

「安全運転かつ真面目で きちんと挨拶ができる方」

人事担当者インタビュー

今回、若手運転手のインタビューに併せ、事業者の求める運転者像や自社のアピールポイントについて人事・採用担当者様にインタビューを実施しました。

Q１.若手運転者を採用するに至った経緯を教えてください。

私が25歳頃に入社した当時、現場で働くドライバーの多くは親世代、あるいはそれ以上の年齢層でした。このままでは将来的にドライバーがいなくなってしまうと感じ、若年層の採用に力を入れ始めました。

Q２.若手運転者を採用するために工夫していることはありますか。

従来はハローワークでのみ求人を出していましたが、求人情報サイトにも求人票を掲載するようにしました。その結果、現在ではインターネットや電話からの応募がほとんどを占めています。

Q３. 入社後の研修制度等はありますか？

二種免許は全額会社負担で取得できます。入社後もしっかりと教育を行うため、ドライバー未経験の方でも安心してスタートできる環境が整っています。

Q４.運転者の将来的なキャリアアップについて教えてください。

業務成績に応じてハイグレード車両の担当を任せるなど、ステップアップできる環境を整えています。また、本人の希望や適性に応じて、管理職へのキャリアチェンジも可能です。

Q５.雇用促進に関して工夫していることを教えてください。

女性運転者については原則として日勤勤務とし、休日も柔軟に選択できるようにしています。日勤の勤務時間は9時から18時が基本ですが、家庭の事情に応じて調整することも可能です。子育て中のドライバーに対しても、お子さまの都合で急な休み、早退にも柔軟に対応します。



今井社長　　今井専務

若手タクシー運転手インタビュー

国土交通省 関東運輸局 群馬運輸支局

4

Q６．どのような人材を求めますか？

真面目で安全運転ができ、きちんと挨拶ができる方を求めています。タクシーは一人でお客様と接する仕事のため、ドライバーの印象が会社の印象に直結します。「またこの人に乗りたい」、「この会社のタクシーに乗りたい」と思っていただけるような接客ができる人を求めています。

Q７.若手運転者を雇用したことで、社内に変化はありましたか？

若手ドライバーが増えたことで、社内が明るくなったように感じています。50代、60代のドライバーからすると子どもや孫の世代になるため、みんなかわいがってくれています。

Q８．自社におけるPRポイントを教えてください。

時代の変化に取り残されないよう、常に新しいサービスや技術を取り入れています。また、配車アプリの導入や各種キャッシュレス決済に対応した機器を整備するなど、お客様が快適に乗車いただけるように日々努力しています。

Q９.若い世代が運転者を目指す人が少ない理由は何だと思いますか？

タクシー業界に対する昔のイメージが残っていることがあると思います。現在は、車両にカーナビも搭載されており、以前のように地理に詳しくないければできない仕事ではなくなっています。運転者になるためのハードルは以前に比べて大きく下がっていると感じています。こうした現状をより積極的に発信していくことが重要だと考えています。

Q１０．最後に運転者を目指す方々へのメッセージをお願いします。

まず、今のタクシー業界を見ていただきたいです。タクシー業界もIT化がどんどん進んでいます。そうした中で、若い世代の皆さんは、自分の強みを生かして活躍できる可能性があると思います。
また色々な方とお会いし、会話ができるのもタクシー運転者ならではの魅力です。公共交通であるタクシー業界にぜひチャレンジしていただきたいです。





運輸支局

インタビュー後記

今回、高崎駅構内自動車株式会社様のご協力もあり、若手運転者インタビューを実施することができました。高崎駅構内自動車株式会社様には感謝申し上げます。
運転者の方からは、自分のペースで働くことができ、プライベートも充実しているとのお話が印象的でした。また、採用担当者とのお話を通じて、未経験の方でも挑戦しやすい環境が整えられていることを感じました。
従来のタクシー運転者のイメージとは異なり、働きやすい職場の中で若い世代も活躍できる魅力ある仕事であると改めて感じました。